

平成元年度家庭教育学級アンケート 集計結果 (回答数68学級)

家庭教育学級文集「つぐみ」より抜粋

学級生・運営委員へのアンケート

(1)【家庭教育学級の事業運営全般について】

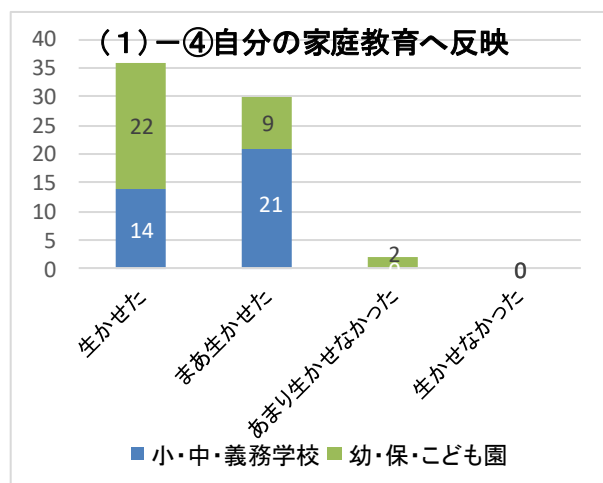
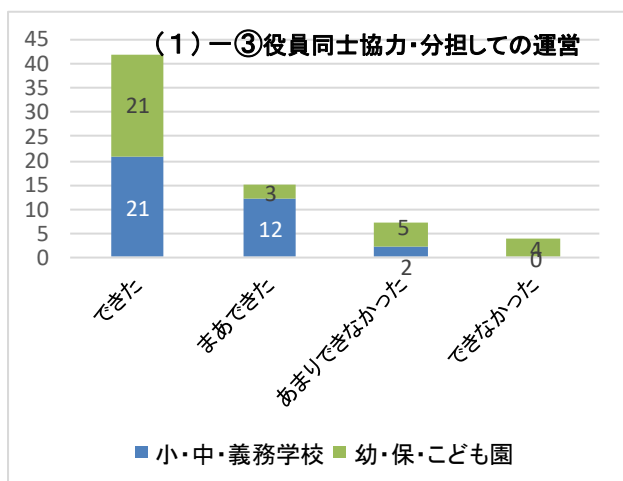
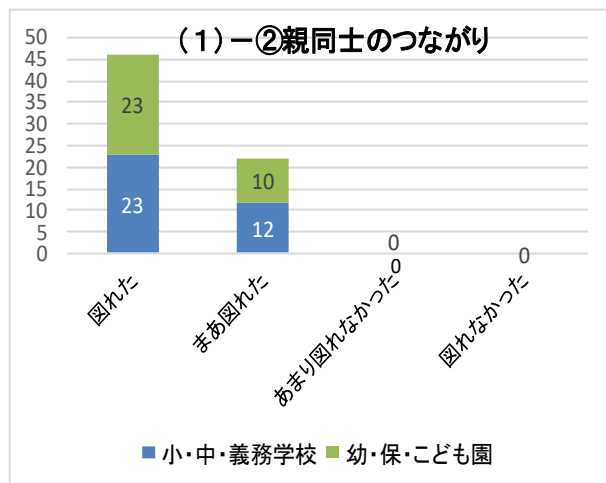
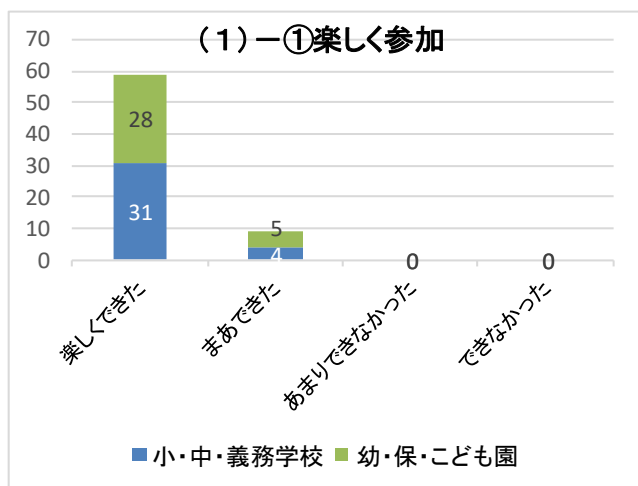
(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

①楽しく参加できたか できた(31/28) まあできた (4/5) あまりできなかった(0/0) できなかった(0/0)

②「親どうしのつながり」が図れたか 図れた(23/23) まあ図れた(12/10) あまり図れなかった(0/0) 図れなかった(0/0)

③役員が協力・分担して運営できたか できた(21/21) まあできた(12/3) あまりできなかった(2/5) できなかった(0/4)

④自分の家の家庭教育に生かされたか 生かされた(14/22) まあ生かされた(21/9) あまり生かせなかった(0/2) 生かせなかった(0/0)



(2)【家庭教育学級の事業内容について】(重複するもの 有)

①「健康・安全」に関する内容

講話: 大切な歯の話 正しいスマホの使い方・スマートフォンの使い方 情報モラル教室

乳がんについて ヤクルト出前授業「おなか元気教室」 小児科医院長の話

体験: 親子歯みがき教室 身近な防犯対策教室 千葉県西部防災センター見学 救急救命・AED 講習
応急処置講習 セルフマッサージ・リンパマッサージ 骨盤健康体操 ヨガ教室 ピラティス
カイロプラクティック教室 親子リトミック エクササイズ・エアロビクス 親子体操教室
親子で運動遊び 親子ムーブメント遊び むいぐるみ病院 バウンドテニス・テニス教室
フラダンス教室 掃除術

②「食育」に関する内容

講話: 栄養士などによる講話

(子どもの栄養 食事の栄養バランス 食事のマナー 排便リズムを整えよう

保健機能食品について 成長期における牛乳の役割 栄養や食品添加物について)

体験: 給食試食 お茶指導 ポップコーンパーティ 親子ふれあいもちつき会 外国の食文化クイズ
親子交流BBQ さつまいも掘り・焼き芋 コーヒーの淹れ方
親子クッキング・おやつ作り・料理教室

(時短料理 太巻き・飾り寿司 唐揚げ 点心 野菜パンケーキ パン・簡単朝食パン
フルーツパフェ シフォンカップケーキ アイシングクッキー…)

視察見学(給食センター・共同調理場 千葉ヤクルト工場 発酵の里「こうぎき」 米屋工場
日本食研千葉工場 恋する豚研究所)

③「人権・福祉」に関する内容

講話: パラ卓球選手講演「違うことを認めて仲良くなろう」 クリティカルシンキング

豊かな人間関係作り 地域ミニ集会

体験: 人形劇・劇団公演鑑賞 親子コンサート 親子で観劇 パントマイム 八街少年院視察
親子遠足

④「地域・地域人材」に関する内容

講話: 地域ミニ集会(「新しい学校 義務教育学校ってなあに」 「令和時代の子育て」

「クリティカルシンキング(豊かな人間関係作り)」)

体験: フラワーアレンジメント プリザーブドフラワー 寄せ植え体験 竹馬作り バス・ボム作り
スイートポテトフェスティバル 焼き芋体験 パン作り 唐揚げ作り スイーツ・菓子作り
太巻き寿司教室 親子で餅つき つまみ細工 マジックショー 美文字教室 ヨガ教室
房総のむら見学 成田山探訪 お店やさんごっこ エアロビクス
麻薬探知犬訓練センター見学 成田国際空港見学 八街少年院視察

⑤「読書」に関する内容

講話: 絵本の大切さ 家庭教育と読書について 絵本から広がる心の育ち 大人のための絵本セラピー
本の魅力に触れる

体験: 読み聞かせ・朗読会 絵本の紹介 親子で楽しむ紙芝居 人形劇鑑賞 紙芝居鑑賞
やすらぎと読み聞かせの力・言&音コンサート

⑥ 「国際（異文化）交流」に関する内容

体験： 親子英語教室 外国のクリスマスとゲーム

⑦ 「子育て・しつけ」に関する内容

講話： 校長・教頭・園長・スクールカウンセラー・教育相談員などによる講話

(家庭教育学級のあり方 家庭と子どもの関わり 望ましい親子の関わり方 ほめてのばす
エンジョイ！子育てのすすめ 令和時代の子育て 中学生の心の発達と対応 魔法の言葉
家庭におけるキャリア教育 現代(いま)を生きる 子どもの自己肯定感を高める子育て
子どもの心に寄り添い育む アドラー流イライラしない子育て・子どもを伸ばす言葉
多様性を育てる子育てとは子どもの自立を促すための子育ての仕方 進路について考える
子どもとの会話や過ごし方 教育・子育てについて語ろう 中学生の心の発達と対応)
両親学級 母親教室 育児相談 おこづかい教室 金銭教育 笑医学 言&音コンサート
入試・進路説明会

体験： 親子遊び 親子遠足

⑧ 環境・エネルギーに関する内容

講話： 正しいゴミの分別・リサイクル法について

体験： 廃油石鹸作り 自然に優しい掃除術 しまん新聞バッグ作り

⑨ その他 親子レク 夕涼み会 クリスマス会 子どもの前髪カット講座 エゴグラム

見聞を広げるための施設見学や視察研修、体験学習

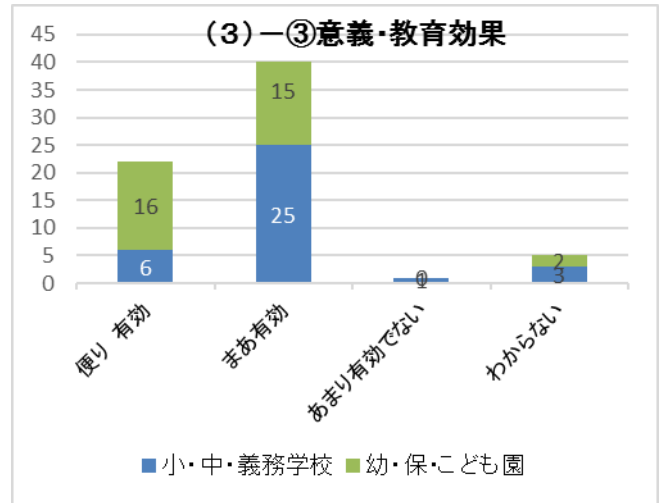
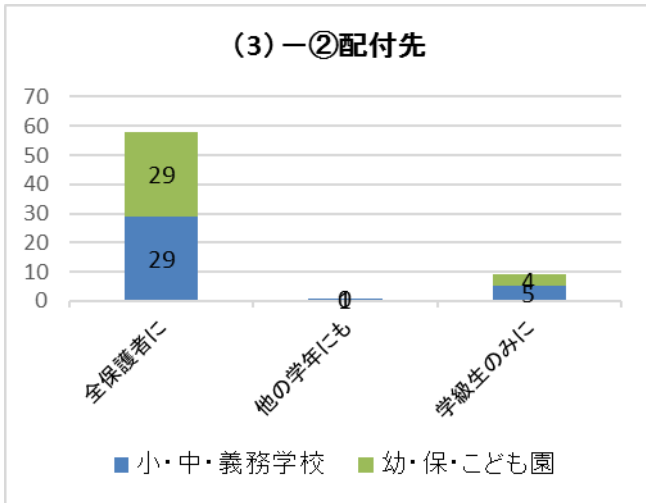
施設： 成田空港・ランプコントロールタワー 麻薬探知犬訓練センター 東京国立近代美術館
恋する豚研究所 なめがたファーマーズヴィレッジ 草笛の丘 道の駅「発酵の里こうざき」
横浜中華街 浅草 豊洲市場 JAXA つくば宇宙センター 房総のむら
東京都庁内オリ・パラコーナー
日本食研工場 米屋第二工場 米屋本店 ファンケル美健千葉工場 雪印メグミルク阿見工場
千葉ヤクルト工場 グリコピア千葉 カップヌードルミュージアム横浜
高等学校(四街道・成田国際・成田北・成田・佐倉西・佐倉東・成田西陵・多古・東京学館・
秀明八千代・千葉敬愛・八千代・八千代松陰・佐原・佐原白楊・印旛明誠・千葉黎明)

体験： 青少年劇場 観劇会 音楽鑑賞会 成田山探訪 茶道 マジックショー 学校探検
スクールコンサート・子どものためのクラシックコンサート
シュガークラフト ラテアート バレンタインチョコのデコレーション 美文字教室
縫わないがま口・ペンケース 木工工作教室 フォトフレーム アロマオイル バス・ボム
コサージュ ハーバリウム フラワーアレンジメント プリザーブドフラワー 寄せ植え
ハンドメイド(シュシュ・包みボタン・ミニハンカチ) パステルアート 点心調理 和菓子作り
クリスマスリース・ツリー クリスマス BOX・スノーマン

(3)【家庭教育学級だよりについて】

(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

- ①発行したか はい(35 /33) いいえ(0 /0)
- ②誰に配布したか 全保護者に (29 /29) 他の学年にも (1/0) 学級生のみ (5 /4)
- ③意義・教育効果は 有効 (6 /16) まあ有効 (25 /15) あまり有効ではない (1 /0) わからない (3/2)



(4)【家庭教育学級についての感想・意見】

《 小・中・義務教育学校 》

- 楽しく進めることができ、有意義でためになった。
 役員同士が仲良くなれ、とても充実した一年が過ごせた。
 保護者や講師の方との交流により視野が広がり学ぶことが多かった。
 保護者同士で情報を共有したり子どもたちと一緒に活動したりすることで、保護者の交流が深まった。
 保護者同士で交流する機会が減る中、貴重な経験の場になっている。
 学校での子どもの様子を知ることができ、とても良かった。
 - 程よい回数で実施しやすかった。
 担当としての負担感ゼロだったのが嬉しく楽しい時間だった。
 他の保護者の方と分担し、運営することができた。
 働いている中だったが、連絡をしっかりと取り合い自分のできる役割を行い、楽しく活動できた。
 受付・カメラ・会計などそれぞれ自然と協力し合え、役員自身も楽しみながら勉強できた。
 皆の協力で大きな負担は感じなかった。
 - 負担は多少あるが主事の先生が分担してくれてとても助かった。
 主事の先生にフォローしてもらったのでやり易く、ありがたかった。
- ・引継ぎがうまくいくと、負担感もなくなる。
 前年度のうちに委員の引継ぎをしておくなどして、年度初めに余裕を持ちたい。
 - ・他の学校と合同で開催してみたい。
 - ・一緒に作る、参加できるなど、子ども達も参加できる会があると良い。
 低学年の児童が親と一緒に学べることで、学校生活の楽しい場所・時間になると良い。
 - ・今後も親同士の交流を深められる内容を工夫しながら子どもたちのために頑張りたい。
 - ・企画内容や参加料などの設定に工夫がいと感じた。
 仕事を休んでまで参加したい内容を企画できるかどうか課題。
 1年生以外の保護者の参加率を上げて縦のつながりが図れると更に心強い。
 - ・幼児がいる保護者は参加しづらいため、託児関係の充実が必要。
 - ・講師への謝礼・手土産などは統一すれば、他学級への問い合わせも必要なく手間が省ける。

- ▼講師を探すことに苦勞している。
- ▼提出書類をもっと簡素化してほしい。
- ▼なかなか受講生が多く集まらない。
企画したものにもう少し多くの参加者がいたら良かった。
親子教室以外は参加者が役員に限られてしまう。1年生以外の保護者にももっと出てもらえるとよい。
- ▼運営委員の中で役割分担が難しく負担が偏る。
役員の役割分担を工夫し、少しでも負担を軽減できるようにするのが課題。
集まる日がやや多かったので、回数を減らせばよかった。

《 幼稚園・保育園・こども園 》

- 一年間楽しめた。
毎回分野を変えて行うため、幅広い視点で情報を得ることができ、良い学びの場になった。
今後も家庭で活かせる内容を行っていったらよい。
- 計画的に運営されていた。
- 負担は全く無くむしろ少ないと感じた。主事の先生のおかげで、負担感はあまり感じなかった。
最初は戸惑いもあったが、周りの協力で無事に乗り切れた。
確かに負担は感じたが、それ以上に得られた経験が今後の子との接し方・家庭教育に活かせると思う。
- 負担と感じるのではなく、この機会に学びたいこと・体験したいことと考えるとすごく進めやすい。
 - ・毎年違う企画を決めていくのは結構時間がかかるので、好評だったものは再度行ってもよいと思う。
役割をうまく分担できるようにしていきたい。
 - ・保護者の方にもう少し気軽に参加してもらえるとよい。
家庭教育学級は母親のイメージがあるが、父親が参加できる企画・内容もあればよい。
 - ・子どもたちと一緒に楽しめる活動をしていきたい。
- ▼企画・学級だよりの発行が少々負担だった。
提出までの期間がもう少し欲しかった。
- ▼内容が似ているものもあり、年々出席率が悪くなっているのがもったいない。
子どもと一緒に参加したいがそうでなければ不参加という方が多かった。
参加者が増えず講師の先生方には申し訳ないと思うことがある。

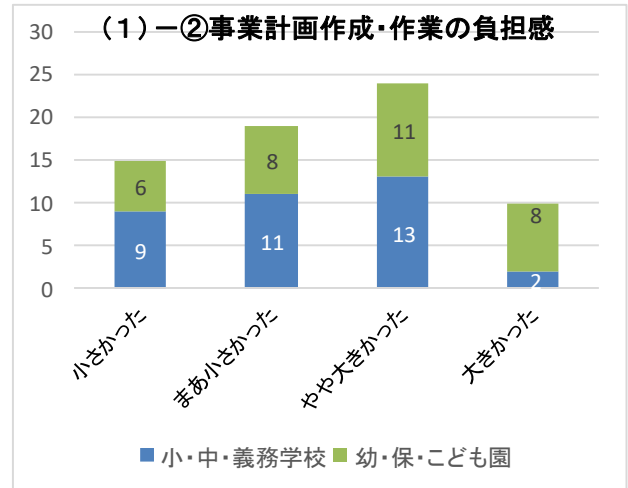
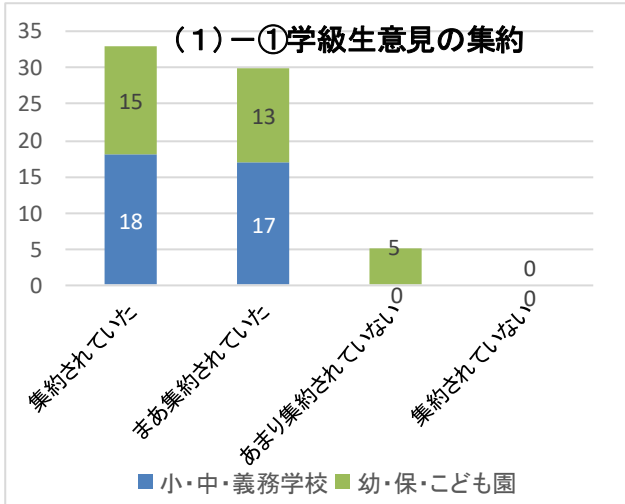
家庭教育学級主事へのアンケート

(1) 【事業計画立案等について】

(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

①学級生の意見が集約されていたか されていた(18/15) まあされていた(17/13) あまりされていなかった(0/5) されていなかった(0/0)

②計画作成作業の負担感どうだったか 小さかった(9/6) まあ小さかった(11/8) やや大きかった(13/11) 大きかった(2/ 8)

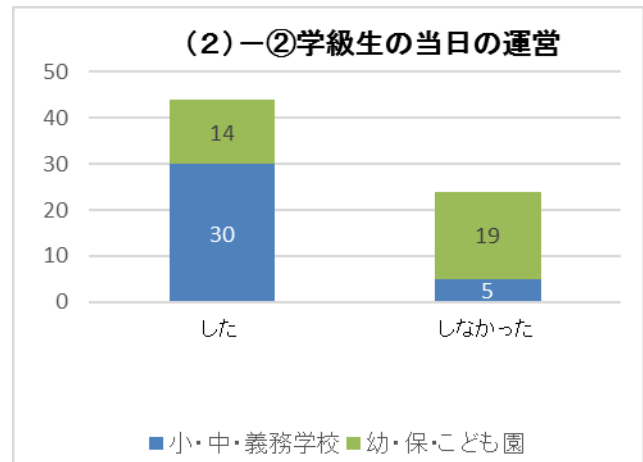
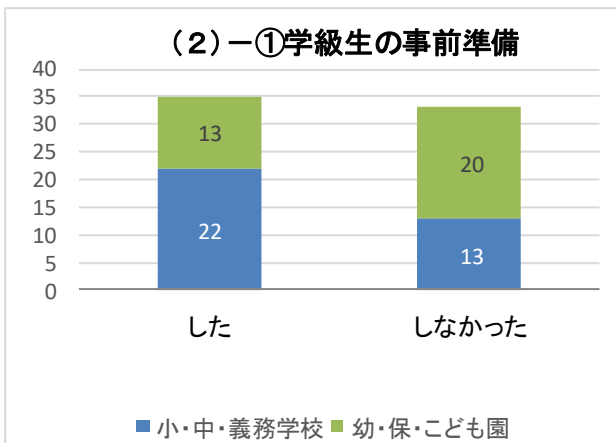


(2) 【学級の運営について】

(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

①事前準備は学級生が行ったか (学級の開催案内のチラシ作り・印刷等) はい(22/13) いいえ(13/20)

②当日の運営 (会場準備・講師接待・進行等) は学級生が行ったか はい(30/14) いいえ(5/19)

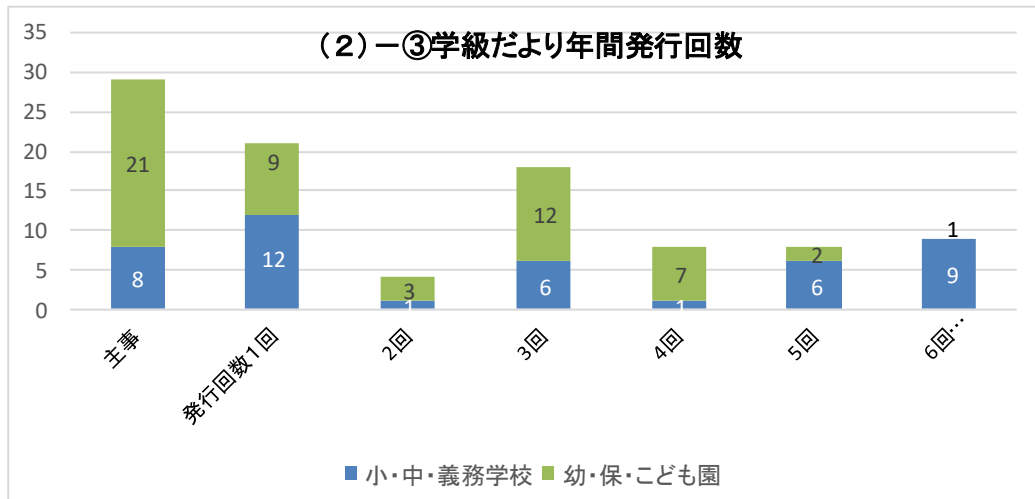


③学級だよりは発行したか はい(35/33) いいえ(0/0)

はい→年間何回発行したか 1回(12/9) 2回(1/3) 3回(6/12) 4回(1/7) 5回(6/2) 6回以上(9/0)

主に誰が作成したか 委員長(6/2) 学級生(21/10) 主事(8/21)

④学級主事として、学級だより原稿の点検・校正は行ったか はい(35/33) いいえ(0/0)



(3) 【委託料について】

(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

○金額はいかがと思うか

多い(2/0) 妥当(31/33) 少ない(2/0)

(4) 【家庭教育学級の重点テーマについて】

(内訳：小中義務 35 学級中/幼保こ 33 学級中)

○来年度の重点テーマは何がよいと考えるか (よいと思うものを全て選ぶ)

- ①健康・安全…………… (18/23)
- ②食育…………… (20/25)
- ③人権・福祉…………… (5/5)
- ④地域・地域人材…………… (14/4)
- ⑤読書…………… (5/10)
- ⑥国際(異文化)交流…………… (7/6)
- ⑦子育て・しつけ…………… (25/22)
- ⑧環境・エネルギー…………… (2/3)
- ⑨その他…………… (6/1)

(東京オリンピック・パラリンピック/日本の伝統・マナー/特別支援教育/キャリア教育/情報モラル/
/現代的な課題：「デジタルネイティブ世代と親世代が通じ合うには」「コミュニケーションの質の変化」)

(5) 【家庭教育学級についての感想・意見】

《 小・中・義務教育学校 》

- 楽しく開催できた。
家庭教育学級を通して保護者同士が顔見知りとなり、連携を深めることに繋がっている。
- 前年度、入学説明会の際に趣旨を説明し、意見を集約した。4月当初の計画作成に役立った。
前年度の委員より運営委員が自主的に活動するよう引継ぎをしていた。
- 学級生が積極的に行ったので、自立した運営ができた。
学級生が自発的に取り組んでくれたので、主事の負担はとても少なかった。
積極的に準備・運営を進め気軽に相談にも乗ってくれたので、主事としては安心して進めることができた。
幼稚園での経験が活かされ、自主的に進めてもらえた。
小学校での経験からか委員が運営に熟知しており、主事としては助けられた面が多かった。

- 統合を控えた大栄地区の小学校で交流を持ちながら進められたのは良かった。
- 各事業を運営委員で分担したのでグループで作業を進めることができ、一人一人の負担が減った。
P T A 専門部に家庭教の企画運営に参加する研修部を作り、自主的な計画作成ができるようになった。
- 昨年度の経験を活かしながら計画立案することができた。
役員が中心になり昨年度を踏まえながら実りある研修になるよう考え、参加者からも好評だった。
- 学級だよりは、テンプレートに写真と記事を入れてもらうようにしたので、昨年度より時間短縮できた。
「学級だより」の発行は年一回でもよいという規定は、役員の負担軽減に大きな効果がある。
参加者の感想のアンケートは、スマホ入力ができるようにし、回収作業に要する手間を削減できた。
- 「つぐみ」により他校の特色ある取り組みを知ることができ、計画を作成する際大変参考になり役立った。
- 今年度から高校訪問を年二回にしたが、概ね好評だった。
- 小規模でも同じ支援（金額・アドバイス）があり恵まれていると感じる。

- ・貴重な学習機会として是非充実・発展して行ってほしい。
- ・学校行事とタイアップした取り組みは主事が中心になり、新しく企画したものは委員長を中心に計画して、実施の時は協力し合って進めた。学級生の希望を優先し主事がそれを支援していくことを心掛けた。
高校訪問などの計画や交渉などは保護者より主事が行った方が円滑に進む。保護者のできることを明確にし分担していくことで、互いの負担が軽減できる。
学級生の主体性が発揮できるように、活動内容や運営方法についても工夫していきたい。
- ・初めてでやってみないと分からないこともあったが、来年度はもっとスムーズにできると感じている。
- ・学級生と子どもと一緒に活動する取り組みが続けられたらよい。
- ・企業などの社会貢献活動を取り入れると、費用もかからず体験的な活動が実施できる。
12月の市P T A連絡協議会の教養研修会も事業計画に位置付けるようにすればよかった。
- ・「キャリア教育」「情報モラル」「オリンピックに関連したもの」「ブックトーク」「特別支援教育（気づく観点・相談機関・子どもへの接し方など専門的立場からアドバイスをもらう）」「インターネット・SNS・スマホ・ゲームなどの問題」などをテーマにしたい。
参加者が多く集まる内容のもの・高校訪問以外にもより多くの保護者が参加するような企画を立案したい。
- ・公民館等と共催・連携して実施できるとよい。
- ・講演会のような講座には関心が薄いようで、体験型が中心だった。
- ・保護者が保護者に学びを提供するというのは遠慮が先立ちなかなか難しいので、主事の存在が重要だと再確認した。次年度は、保護者の自主性を中心に据えながら積極的に提案や助言をしていきたい。
- ・運営委員は一年限りで慣れないので、文書の作成など事務処理的な内容は主事が行うのはやむを得ない。
- ・保護者に目的を理解してもらい、多くの方に参加してもらえよう、工夫・改善していきたい。
- ・実技講習や視察研修の一覧など、参考にできるものがあると大変ありがたい。
- ・委託金の使途（講師料や一人分の茶菓子代・教材費の補助のあり方など）は、なるべく同じであるように、細かく説明してほしい。
- ・児童生徒数や地域性など、学級の置かれている状況によって金額に差があってもよいと思う。
- ・平日開催だとどうしても参加人数に限りが出たり、親だけの教室だと参加率が下がったりするので、親子参加も検討して内容の充実を図り、少しでも参加者を増やす努力をしていきたい。

▼人材が内容に合わず、いそうでなかなか見つからない。

▼学級だよりも毎回実施後発行し様子を伝えたり参加を呼び掛けたりしているが、現状はなかなか人が集まらないので更なる工夫が必要。

魅力ある家庭教育学級を目指して運営委員長や運営委員が尽力されているが、他の参加者の家庭教育学級に対する意識は高くないのが現状。

▼運営に関してはもう少し学級生に任せたい部分があった。

運営委員にもう少し主体性を持ってほしい。

- ▼保護者は思ったほどパソコンの扱いに慣れておらず、学級だよりの作成にも多少の支援が必要だった。運営は保護者で学校はサポートだと思うが、実際は多くの業務が主事の仕事で負担が大きかった。保護者主体の組織ではないので、結局、主事が中心になって企画・運営する状況が続いてしまった。
- ▼会計を委員に任せたいが役員が一年で変わることを考えると難しい部分があり、結局主事が担当している。一年限りでの運営委員体制では、自治的な活動にまでなかなか深まらない。
- ▼確認不足もあったため、運営委員に当日の動きや実習の会費徴収についてのアドバイスができなかった。
- ▼学校規模が違うので、回数や予算などをもっと柔軟に考えたい。小規模の学校は小回りが利き家庭教育学級もやりやすい反面、多くの参加者を求めることが負担になっているところもあるので、自分のところにあった取り組みを考えていきたい。予算の増額、もしくは目安の回数を減らす方向で見直してほしい。
- ▼事業計画の立案から提出日まで期間が短いので、学級生の意見を聞いたり集約したりするのに苦労した。委託バスの申し込みについて短時間で決めなければならず大変だった。もう少し余裕があると助かる。運営委員の日程調整をして準備するのは大変。

《 幼稚園・保育園・こども園 》

- 計画では、周りの方たちの話や「つぐみ」が参考になった。運営委員が内容の希望など意見を出してくれたので計画を立てやすかった。
 - 進行の要項を作るのが大変だったが、当日は運営委員が分担・協力し合って進めてくれスムーズだった。
 - 便りは一回のみの発行だったが、学級生の負担にならずに集約して楽しく発行していたようだ。
- ・書類作成など経験者がいないと不明点が多いため、委員歴のある方が一緒に続けて運営してもらえると、よりよい家庭教育学級が行えると思う。
 - ・親と子の絆が深められるテーマで進めていきたい。お父さんの参加が割と多く好評だった回もあるので、父親でも参加しやすいような企画にしていきたい。参加者がいつも同じ人にならないように来年度も興味の持てる内容にしていきたい。参加したいと思えるような企画が必要。
 - ・地域教育力向上講演会は地域のイベントが少ない時に開催してほしい。
 - ・学級生を中心とした活動にしていきたいが、仕事をされているので、学級だよりの作成などが負担にならないようにしていきたい。
 - ・妥当な距離での視察研修の行き先・多人数でできる内容の情報が得られると助かる。講師や内容選びにとっても時間がかかった。もっとたくさんの提示があって選びやすくなるといい。
- ▼学級委員と一緒に話し合う時間がなかなか取れないため、学級生の意見を反映しづらい。学級生が皆仕事をしているので、日程決めに悩んだ。
 - ▼視野が広がったという意見も多かったが、反面、負担に感じる方もいるようだった。強制ではなくても、「参加しなくては」と負担に感じている保護者もいる。
 - ▼保育園は父母の会がないため保護者には頼みにくい状況。計画書作成・事前準備・当日の運営・学級だより発行を主事が一人で行うため負担がある。
 - ▼仕事をしている方ばかりなので、平日の開催は参加者がなかなか集まらない。親同士のつながりといってもごく一部の保護者のみになってしまう。
 - ▼私立保育園では実施しなくてもよいのではないか。小学校に入学してからの参加でも遅くないと思う。